

令和4年度愛媛県産業教育振興会総会 教育長祝辞

〔令和4年7月1日（金）
にぎたつ会館〕

令和4年度愛媛県産業教育振興会総会が、本日、3年振りに対面で開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

また、御出席の皆様方には、平素から、本県の産業教育の振興に温かいお力添えを頂いており、お陰をもちまして、県内の高校を卒業した生徒の就職状況は、近年、非常に高い水準を維持していることに加え、県内企業への就職率についても、増加傾向にあります。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、「社会に開かれた教育課程」の理念の下、地域の持続的な発展を担う職業人材の育成を目指し、知識や技術の習得はもとより、各産業が抱える課題を発見し、創造的に解決する力、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を育む教育に努めているところであります。

こうした中、小松高校ライフデザイン科では、令和元年から3年間、国の事業を活用し、地元企業や地域コミュニティ等と協働して、生活文化の継承や生活産業の振興など、地域の課題解決に向けて、実践的な学習を行っており、この成果をもとに、引き続き、地域に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。

また、各職業学科においては、スマート農業の導入や最先端の装置を用いた機械加工、特産品を活用した商品開発、高度な介護技術など、専門分野の卓越した技術・技能を身に付けることができるよう、各学科の特徴を活かした実践的な取組みの充実に加え、企業技術者等による実技指導や講演を通して、県内企業への理解を深めるとともに、地域産業を支える専門的職業人材の育成を図っているところであります。

IoTやAIなどの技術革新やデジタル化が急激に進展し、働き方に対する社会や労働者の価値観が多様化する中、先日報告を頂いた「県立学校振興計画策定の指針」においても、生徒に職業横断的な広い視野を持たせる仕組みの導入など、職業系学科の魅力化の方向性が示されており、地域産業活性化の鍵を握る産業教育の充実は、今後益々重要性を増してくると考えております。

県教育委員会といたしましては、こうした産業構造や社会環境等の変化を踏まえながら、今後とも、地域や産業界との連携を一層深め、地域産業を担う有為な人材の育成に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様方には、引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、愛媛県産業教育振興会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。